

社協だより

現在、川俣町民が置かれている環境は、原発事故後の避難生活の課題など厳しいものがあります。それらの課題を乗り越えるためにも、今後いっそう職員一丸となって邁進いたしますので、町民の皆様方をはじめ関係団体の方々のご協力とご支援をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

川俣町社会福祉協議会は、私たちが暮らしている地域を「幸せな地域、住みよい地域」とするため各種地域福祉事業を行っております。その事業実施に際しまして、町民やボランティア団体など、多くの方々にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。さて、昨年度より策定を進めておりました「川俣町地域福祉活動計画」が本年四月より実施となりました。地域福祉活動計画におけるキャッチフレーズでもある「誰もが笑顔で元気に暮らせるまち かわまた」を目指して、今後も事業を展開して参ります。



日ごとに暑さが増してきましたが、町民の皆様方におかれましては如何お過ごしですか。

ごあいさつ
川俣町社会福祉協議会
会長 片寄隆臣

重度障がい者の方へ タクシー利用券を給付します

- 対象者
重度身体障がい者の方（身体障害者手帳1種1級・1種2級をお持ちの方）
- 給付券の数
1人6枚（1枚500円）
- 申請方法
印鑑と障害者手帳を持参のうえ、川俣町社協に用意されている用紙で申請
- 受付期間
平成27年7月1日(火)～12月24日(木)まで
- 利用できる期間
平成28年3月31日(木)まで

ひとり親家庭の方へ 食事券を給付します

- 対象者
18才未満の子どものいるひとり親家庭及び父母のいない児童家庭で、川俣町ひとり親家庭医療費助成事業に該当する方、及び生活保護世帯の方
- 給付券の額
親子の人数に応じて（1人1,000円）
- 申込方法
平成27年度交付のひとり親家庭医療費の受給資格証又は、26年度の所得がわかる書類、印鑑を持参のうえ、川俣町社協に用意されている用紙で申請
- 受付期間
平成27年9月1日(火)～11月30日(月)まで
- 利用できる期間
平成27年10月1日(木)～12月31日(木)まで

主 な 内 容

- 平成27年度事業計画と予算・職員紹介 2～3P
- 平成26年度事業報告 4～5P
- 平成26年度決算 6P
- ボランティアセンター情報 7P
- 寄附報告・各種お知らせ 8P

No. 96

平成27年7月1日発行

編集発行

平成27年度 事業計画

基本目標

- 1 地域を支える人づくり
- 2 誰もがつながり合う仕組みづくり
- 3 誰もが安心して暮らせる環境づくり
- 4 地域福祉を推進する連携の体制づくり
- 5 地域福祉を推進するための機能強化

基本施策（重点事業）

1 地域を支える人づくり

- (1) 福祉意識の醸成
 - ・ 親子ふれあい福祉映画会
 - ・ 各種ボランティア講座の開催（ジュニア、傾聴、災害 等）
 - ・ 学校への講師派遣
 - ・ 障がい者理解の啓発
- (2) ボランティア活動の活性化
 - ・ ボランティアセンターの運営・強化
 - ・ ボランティア団体への協力・支援

2 誰もがつながり合う仕組みづくり

- (1) 地域コミュニティの形成
 - ・ 友愛訪問活動助成金交付事業
 - ・ 民生委員協議会、老人クラブ連合会、日赤奉仕団、身体障がい者福祉会、遺族会、手をつなぐ親の会への助成金の交付
 - ・ 民生委員協議会の運営

- (2) 児童虐待の早期発見と防止
交流の場や機会の充実
- ・ ひとり暮らし高齢者のつどい
- ・ ひとり暮らし高齢者の健康料理教室
- ・ ふれあいいきいきサロンの普及・支援
- ・ 在宅寝たきり高齢者の介護者リフレッシュ事業
- (3) 防災体制の充実
 - ・ 防災組織との関係づくりの強化
 - ・ 災害ボランティアセンターの立ち上げ
 - ・ 避難所体制の整備

3 誰もが安心して暮らせる環境づくり

- (1) 生活環境の整備
 - ・ 福祉タクシー利用券の給付
 - ・ 町内遊び場遊具の点検・整備
- (2) 健康づくりの推進
 - ・ ふれあい健康保持事業
 - ・ 老人クラブ連合会が行うスポーツ大会等への支援
 - (3) 福島第一原発事故からの復興
 - ・ 避難者の見守りや生活相談の実施
 - ・ 仮設住宅でのサロン開催
 - ・ 山木屋地区住民の交流会開催
 - ・ 町外からの避難者に対する支援
 - (4) 社会参加・生きがいづくりの支援
 - ・ 生きがいデイサービスの運営
 - ・ 自立支援ホームヘルパー派遣
 - ・ 老人福祉センターの運営
 - (5) 福祉バスの運行
 - ・ 生活困窮者の支援体制の充実
 - ・ 生活援助資金貸付事業
 - ・ 生活福祉資金貸付事業
 - ・ 高額療養費・出産資金貸付事業
 - ・ 生活困窮者支援制度に関する対応

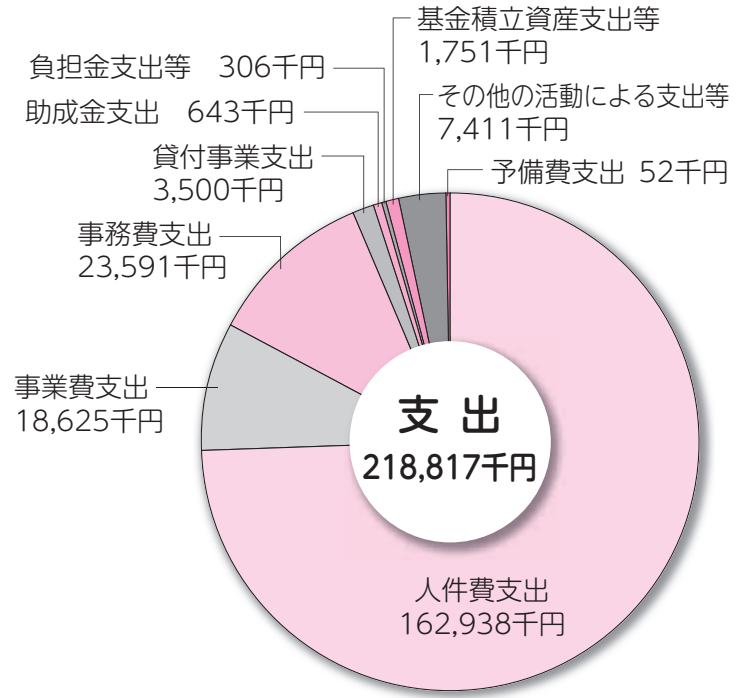
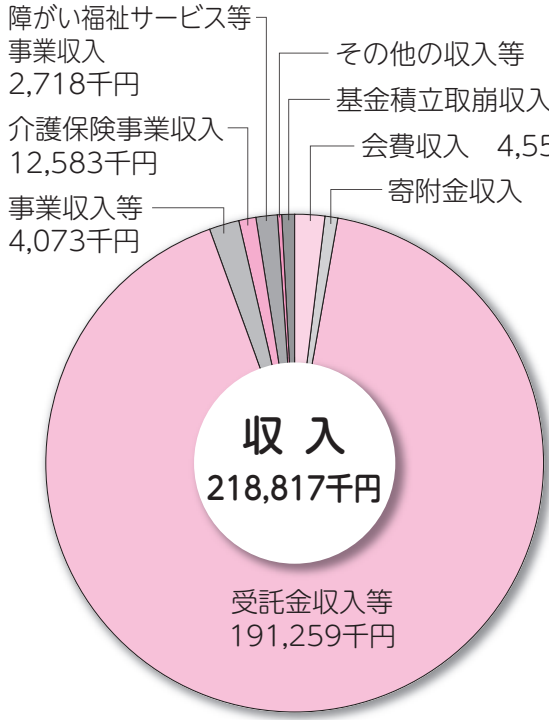
4 地域福祉を推進する連携の体制づくり

- (1) 相談体制の充実
 - ・ 心配ごと相談所の開設
 - ・ 弁護士相談会
 - ・ 高齢者支援システムづくり事業（ふれあい相談員の配置）
- (2) 情報提供の充実
 - ・ 社協だより等の発行
 - ・ 社協ホームページの開設
 - ・ 福祉サービスの充実
- (3) 介護者激励金の交付
 - ・ 高齢者配食サービス助成事業
 - ・ 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）
 - ・ 訪問介護サービス利用者助成事業
 - ・ ひとり親家庭への食事券給付
 - ・ ひとり親家庭への入学祝金支給
 - ・ 障がい者へのホームヘルパー派遣
 - ・ 居宅介護支援事業所の設置・運営
 - ・ 災害見舞金の支給
 - ・ すみよし保育園の受託運営
- (4) 地域福祉ネットワークの構築
 - ・ 地域ネットワークづくり
 - ・ 福祉ニーズや課題の把握（町民との座談会の開催）

5 地域福祉を推進するための機能強化

- (1) 組織の強化
 - ・ 組織体制の強化
 - ・ 職員の資質の向上
- (2) 財政の強化
 - ・ 社協会員加入の促進
 - ・ 共同募金活動の実施

平成27年度予算



**社会福祉協議会に
新しい職員が増えました**

事務局 長



佐藤 光正

この度、社会福祉法人川俣町社会福祉協議会の理事会並びに評議員におきまして同意をいただき、六月一日付けで事務局長に就任いたしました。

地域福祉の推進を図る中核団体として、「地域福祉活動計画」の基本理念である「誰でもが笑顔で元気に暮らせるまち かわまた」をめざし、事務局職員一同、各種福祉サービスの提供を行って参る所存ですので、前田中文博局長同様よろしくお願い申し上げます。

生活支援相談員



菅野 勝久

杉妻は四月、菅野は六月から、生活支援相談員として避難しているみなさんの見守りや支援活動をさせていただきます。お待ちしております。駆け出しの二人ですが、見かけたら気軽に声をかけてください。これからどうぞよろしく申し上げます。

平成26年度 事業報告

生活援護事業の推進

○生活援助資金貸付事業	10件 (435,000円)
○生活福祉資金貸付事業	1件 (100,000円)
○心配ごと相談所の開設	20件 弁護士相談3件

高齢者福祉対策の充実

○生きがいデイサービス利用者	23名
○自立支援ホームヘルパー派遣利用者	22名
○ひとり暮らし高齢者のつどい参加者	62名
○ひとり暮らし高齢者の健康料理教室参加者	17名
○ふれあい健康保持事業利用者	583名 (583,000円)
○在宅寝たきり高齢者の介護者リフレッシュ事業	6名
○介護者激励金の支給件数	192件 (960,000円)
○高齢者支援システムづくり事業 (ふれあい相談員の配置)	58名
○老人福祉センター利用者	延8,475名
○福祉バス利用者	延1,717名 (74回運行)
○ふれあいいいきサロン助成	302件 (302,000円)
○サロン交流会参加者	30名
○高齢者配食サービス利用登録者数	14名
○日常生活自立支援事業 (あんしんサポート) 利用者	2名
○ヘルパー利用金助成件数	延15件



ひとりぐらしのつどい

児童および青少年福祉対策の推進

○ひとり親家庭への食事券給付件数	36件
○ひとり親家庭への入学祝金支給件数	9件
○親子ふれあい映画会来場者	116名
○町内遊び場の点検・整備	2カ所



サロン交流会

障がい者福祉対策

○障がい者ホームヘルパー派遣利用者	10名
○重度身体障がい者へのタクシー券支給	34件

介護保険利用者への支援

○居宅介護支援事業所の設置・運営	
ケアプラン作成件数	延954件
要介護認定調査件数	延108件



災害ボランティア講座

ボランティア活動の推進

○ボランティアセンター登録者数	1,871名 (団体20 個人18)
○ボランティア交流会参加者	20名
○各種ボランティア講座の開催	
ジュニアボランティア講座受講者	延44名 (全4回)
災害ボランティア講座受講者	22名
ボランティア入門講座受講者	8名
傾聴ボランティア講座受講者	延77名 (全3回)
○公開セミナーの開催 (福島県社会福祉協議会との共催)	



広報活動の充実

- 「社協だより」の発行 3回

各種募金活動と歳末たすけあい配分事業等の実施

- 赤い羽根共同募金 2,257,061円
 ○歳末たすけあい募金 1,008,127円
 ○歳末たすけあい運動
 慰問金配分事業 603名
 (1,206,000円)
 ○仮設・借上げ交流会の実施 1回
 ○避難世帯訪問事業 350世帯分



赤い羽根共同募金

福祉基金の造成と充実運用

- 寄附件数 29件 (1,232,725円)

生活支援相談員の配置

- 訪問世帯 355世帯
 ○仮設住宅でのサロン開催 19回
 ○町外からの避難者に対する支援

すみよし保育園の受託運営

- 年間保育児童延人数 延1,657人

地域福祉活動計画の策定

- 関係団体へのヒアリング開催 3回
 ○地域福祉活動計画策定委員会の開催 2回



すみよし保育園の受託運営

26年度社協会費の納入にご協力いただき ありがとうございました

皆様からご協力いただいた会費は、前記の地域福祉事業の実施に役立てられました。
 内訳は、下記のとおりとなっております。

会費総額 **4,520,800円**

〔内訳〕

一般会員会費 **3,312,800円** (山木屋地区を除く)

特別会員会費 **1,208,000円** (山木屋地区を除く)

「社協会費」

って？

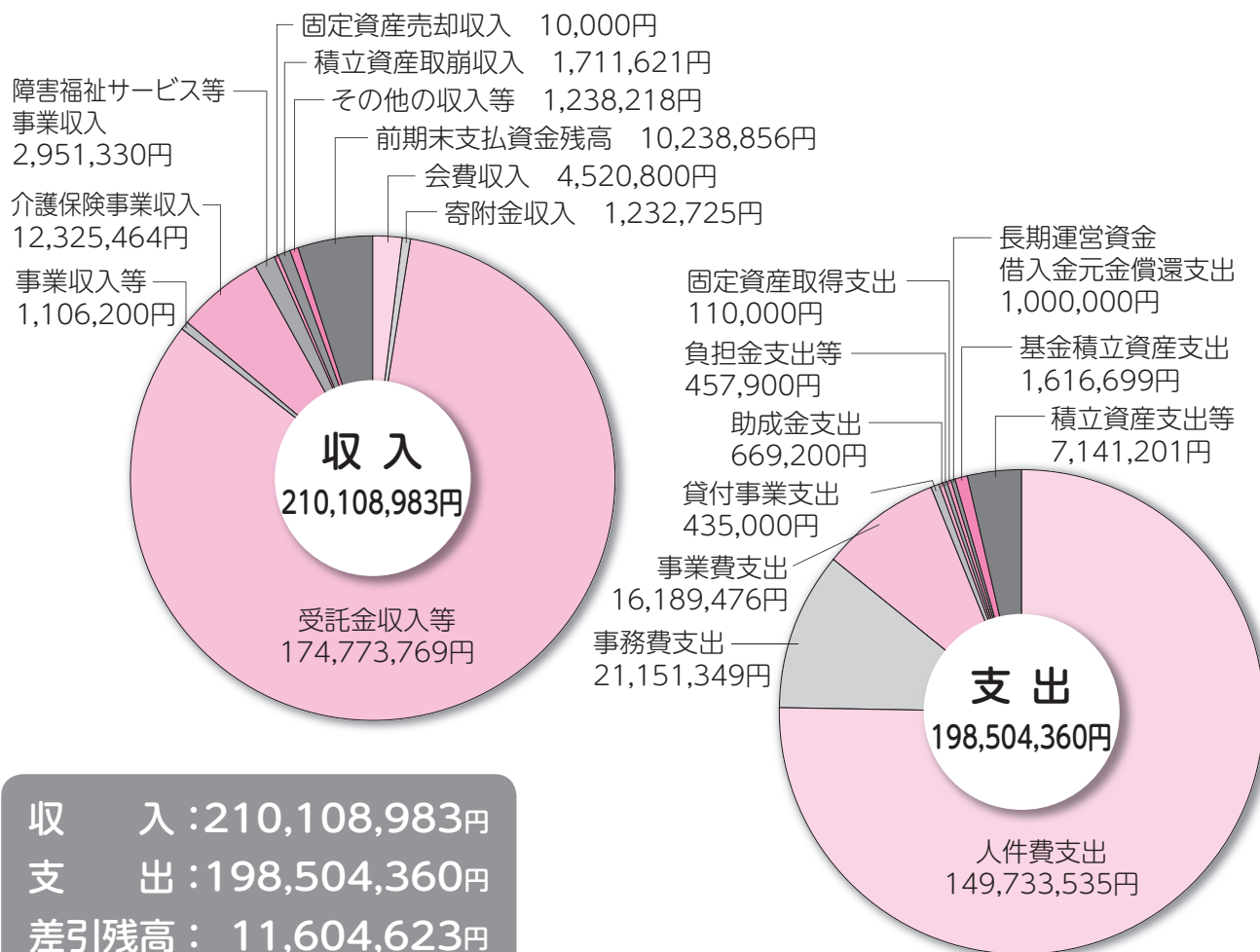


社会福祉協議会では、町民のみなさまに一世帯あたり800円（山木屋地区除く）の一般会員会費の納入をお願いしています。7月に、社会福祉協議会から委嘱を受けた社会福祉推進員（行政区長さんなど）が納入のお願いに伺っています。

また、会社・事業所などを対象に、特別会員会費（1口5,000円）の納入にもご協力いただいております。

27年度も、社協会費の納入にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年度決算



貸借対照表

単位：円

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	35,457,253	流動負債	33,265,630
固定資産	160,673,159	固定負債	36,265,436
資産合計	196,130,412	負債合計	69,531,066
		基本金	1,100,000
		基金	44,423,727
		国庫補助金等特別積立金	78,642,757
		次期繰越活動収支差額	2,432,862
		純資産合計	126,599,346
		負債・純資産合計	196,130,412

ボランティアセンター情報

新規ボランティアグループ設立

傾聴ボランティアグループ きこう会

平成26年度傾聴ボランティア講座を受講した方々で、新たに「傾聴ボランティアグループ きこう会」が立ち上がりました。毎月2回、川俣ホームで利用者の方への傾聴活動を行っています。これが初めてのボランティア活動という方も多く、メンバー同士で相談、協力し合いながら活動しています。

利用者さんとの交流はもちろんのこと、一緒に活動するメンバー同士での交流も楽しみながら、これからの活動を充実したものにしていきたいとのことでした。



～来てみっせ！ふれあいいきいきサロン～

萩平シルバー会 (飯坂)



運動推進員さんから健康体操を教わりました。みんなでやると、いっそう楽しいですね。

フレッシュおたのしみ会 (福田)



社協職員がお邪魔して、皆さんとレクリエーションを楽しみました。

松ノ口笑福サロン (小綱木)



地域包括支援センターの出前講座の様子。認知症についてのお話や簡単なゲームで楽しく過ごしました。

大綱木ふれあいサロン (大綱木)



ゲームや体操で体を動かした後のお茶会の様子。作っている野菜の話や旅行の話など、楽しい話題が尽きません。

お知らせ

社会福祉協議会では、町内の小学5年生～中学3年生を対象に「ジュニアボランティア講座」を開催いたします。日程・内容は下記の通りとなっております。

詳しくは社会福祉協議会へお問い合わせください。

日程：7月～11月 毎月1回 内容：幼児との交流、中央公園の清掃、赤い羽根街頭募金など



ご寄附ありがとうございます

次の方々から多大なるご寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。
また、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一般寄附

▽東北労働金庫福島支店
推進委員会

副推進委員長
高橋 誠一様

▽ジャパングルフツアー
選手会

会長 池田 勇太様
(軽自動車一台)

▽川俣町建設同業会

会長 古俣 猛様



△ 東北労働金庫福島支店推進委員会様



△ 川俣町建設同業会様

故人の遺志による寄附

▽小島 齋藤 林様

(故スミ様)

▽東京都 引地 幸栄様

(故庄三様)

▽鶴 沢 佐藤 進様

(故昭吾様)

▽鉄炮町 丸樹 新一様

(故正三様)

▽羽 田 作田 善輝様

(故学様)

▽福島市 狗飼 信様

(故榮様)

▽小 島 新関 厚様

(故尚様)

▽小 島 渡邊 雄一様

(故ナツヨ様)

親子ふれあい映画鑑賞会



日 程：平成27年8月8日(土)
開演時間：午前10時～
(開場9時30分)

場 所：中央公民館大ホール

入 場 料：無料

※チラシについている整理券をお持ちください。

問い合わせ：川俣町社会福祉協議会 ☎565-3761

主 催：川俣町社会福祉協議会

後 援：川俣町教育委員会、川俣町青少年育成協議会

車両が新しくなりました

3月12日、ジャパングルフツアー選手会から軽乗用車が贈呈されました。贈呈式では、県内10か所の社会福祉協議会を代表して、片寄会長が池田勇太選手会会長に謝辞を述べました。

また、5月25日には、生活支援相談員が使用する車両として福島県社会福祉協議会から普通車が配置されました。

新車両をいただき、私たち職員も気持ちを新たに、益々地域福祉事業の推進に励んで参りたいと思います。



生きがい活動支援 デイサービスを 利用しませんか

●利用できる方

60歳以上のひとり暮らし（日中ひとり暮らしの方も含む）、または高齢者だけの世帯の方

●場 所

川俣町老人福祉センター「いきいき荘」

●利用できる日

(火)、(水)、(木)のいずれかの曜日
ひとり週1～2回

●時 間

午前10時～午後3時

●料 金

ひとり1回800円（利用料、昼食代等）

●主な内容

健康チェック、ハイキング等の外出、趣味の活動（書道、カラオケなど）など

●送 迎

指定のあった自宅近くの場所まで送迎

●問い合わせ

川俣町役場（保健福祉課）

☎565-2111

川俣町社会福祉協議会

☎565-3761